

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年2月5日

事業所名: 合同会社BankLife Rosetta BASE

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	車いすを置くスペースや利用者の過ごす位置などその日毎で工夫して動線確保している。使わない物は風呂前スペースなど生活スペースをより広く使えるように対応している。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0	引き続き、今のことを継続し、日々スタッフ間で相談しながらより良い形でスペースを使えるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	各専門職が正社員として在中しており、最低利用者1対1の割合でスタッフを配置している。スタッフが休みの際はもう一つの施設からヘルプを要請し、スタッフ確保に努めている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0	十分なスタッフ配置となっているため、今後も継続していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレ内に段差はあるが特に困っていることはない。室内はバリアフリー化されているが、道路に出るまでの敷地に大きな段差があり、そこにスロープを設置している。情報伝達についてはプライバシーの部分を別の言い方にするなど工夫はしている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0	今後も利用者が過ごしやすいようにスタッフ間で話し合いながら環境整備をしていく。また情報伝達についてもより良い方向へスタッフ皆で考えていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	冬場は乾燥しないよう加湿器を、夏場は暑いのが苦手な方のために空調マットを使用。その日の気温に応じて、空調調整を行い、毎日掃除と消毒を行っている。またシーツやタオル、クッションカバー等毎日洗濯をしており、使用したおもちゃや絵本、楽器の消毒をその都度実施している。ドアノブや床の消毒も毎日実施。壁に季節ごとの装飾を施すことで季節を楽しめるように工夫している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	引き続き、掃除、洗濯、消毒等実施する。特に利用者が使用するおもちゃや絵本はその都度消毒をし、清潔を保つように心掛ける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回ずつ施設又は全体でミーティングを行っており、多職種のスタッフも参加し話し合っている。施設のミーティングでは改善点や疑問点がある場合、議題として出しみんなで話し合う場を設けている。		ミーティングでの話し合いの他にもその都度話し合うことがあれば、その場を設けて業務改善を目指していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、実施していない		今後第三者委員会の設置及び評価を検討す

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	1年毎に研修計画を立て、その研修講師をスタッフに平等にしてもらっている。またそれぞれ施設毎で勉強会や研修実技を月に1回実施するように計画をしている。外部研修の機会を得るため、情報収集や情報提供に努めている。		施設内での勉強会や訓練、実技実施をより徹底していき、スタッフの資質向上、学習意欲に繋がるよう努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご家族からのモニタリングアンケートと日頃のアセスメントを基に、半年に1回会議を開いている。各専門職が集まり、ニーズや課題を話し合い、それに基づいて支援計画を作成している。また各専門職からの発言が偏らないように事前にモニタリングを考え記入してもらい、それをまとめた上で会議を行っている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	引き続き、各専門職が集まり会議を開いていく。そして、ニーズの変化にしっかり応えられるよう、送迎時などにご家族からの聞き取りをし、スタッフ間で共有していく。今後も丁寧な情報収集を心掛けていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	支援会議にて各専門職で話し合い、個別性を踏まえてリハビリや活動、また集団活動の支援内容を作成している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も子どもの状況や成長に応じ、個別活動・集団活動を組み合わせ、計画を立案していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用者の個別性、年齢、状況に応じて、具体的にニーズに合った内容を記載している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も本人の状況、ご家族・相談支援員の意見を取り入れながら、ニーズに合った内容を記載していく。
適	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議にてスタッフ間でしっかり共有できていることもあり、実際現場でも計画に沿った支援を意識することができている。それを半年間継続していくことを更に心掛けたい。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0	継続していくためにどのようにスタッフに意識してもらうかが課題。朝の会での情報共有もしていきたいと検討中。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動担当のスタッフが中心となって1か月の活動内容を考えている。また他のスタッフにも案を聞くなどして他スタッフにも協力を得ている。	はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0	活動が偏らないようなプログラムを考案していく。またそのためにも担当以外のスタッフの案ももらいつつ、様々な活動に繋げていきたい。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は主に個人での活動をしているが、長期休暇などみんなでゆっくり活動できる時間が持てる時は、集団でできるゲーム等を考えている。		平日は短い時間でできる活動を、長期休暇は時間があるので集団でできる活動を計画的に内容等決めて時間を無駄にすることなく実行していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
切な支援の提供(続き)	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動担当を3人と人数を増やし、様々な活動プログラムを考案している。また担当以外のスタッフにも意見を聞き、偏らないように様々な案を取り入れている。	はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0	担当だけでなく色々な人の意見を取り入れつつ、今後も固定化しないような工夫を実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	全体ではできる時と、出来ていない時がある。職種毎や個々で行っていることが多い。朝の会や昼の会にて支援内容の確認をすることもある。		1日の流れ・スケジュールを紙1枚に出しつつでも確認できるようにしているので、それをスタッフ間で口頭で確認していき、習慣化させていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気づいた点があった場合、個々や職種毎に話し合うことが多い。また共有事項についてはLINEにて連絡を行っている。		個々で出た話でみんなで話し合った方がいい内容であれば、話し合いの時間を取り、スタッフみんなで情報の共有をしていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録は細かく記載できていると思うが、支援の検証・改善には至っていない。また送迎時にご家族から頂いた情報をLINEやアセスメントとして記録し、情報共有している。		引き続き、記録ノートへの正確な記録を徹底し、ご家族への連絡漏れがないように心掛ける。またスタッフ間の情報共有も漏れがないようにLINEや口頭にて伝えていくことを徹底する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	アセスメントや日々の様子を基に、半年に一回各職種のスタッフが集まり実施している。		引き続き継続する
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	コロナ禍で会議が開催されていない開催された場合は、管理者または代表と必要に応じて看護師、理学療法士が参加できるように調整していく。		これからもできる限り参加していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校送迎時は担任の先生との関係を築き、情報共有、疑問点や学校での様子をいつでも聞けるように心掛けている。学校の見学も行かせてもらった。また必要時、相談事業所やデイと連携を取り、利用者の情報共有をしている。		引き続き学校の先生とは連携を取っていく。また学校へ見学を行かせてもらい、利用者の学校での様子も見に行きたい。他事業所や相談支援員ともいつでも連絡が取れるような関係性作りを築いていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	ご家族を通じて医療的ケアの指示書での主治医とのやり取りや緊急搬送時の連絡先をまとめて表にして、緊急時に備えている。新年度には変更がないか毎年ご家族に手紙を配り確認してもらっている。		今後も保護者から情報を元に連絡体制を整えていく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行例無し		今後移行事例がある場合は情報提供していく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	移行例無し		今後移行事例がある場合は情報提供していく
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	計画書を頂いたり、モニタリングなどを電話で情報共有等をしている。		引き続き連携を取り情報共有をしていく。研修の情報提供をスタッフに引き続きしていき、専門分野以外の参加も促していく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナのためできていない	はい:3 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:7	コロナが落ち着き交流ができる状況になれば、近隣の保育園や児童デイ等の交流の機会を検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	年末にはご近所のご挨拶に利用者と一緒に行き一緒に挨拶をもらった。また近くのコンビニやお店に行く機会も多かった。		引き続き、ご近所付き合いや近くのお店へ行くなど地域交流の機会を作る。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にお伝えしており、通所されてから問い合わせがあった場合もご納得いただけるまで説明をしている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0	契約時に丁寧に説明すると共に、保護者からの疑問点をしっかり聞き、それに具体的に答えていくよう心掛ける。また通所してからも送迎時や電話等で問い合わせがあった場合、丁寧に詳しく説明できるよう努める。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を作成した後、ご家族にお渡し内容を確認していただいているが、直接の説明はできていない。内容に訂正・追加ある場合は再度計画書の立て直しをしている。	はい:12 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	面談時に支援計画についての説明とお話ができる機会を検討し、面談が難しい場合は支援計画書を渡す際にノートに記載していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談があった場合、助言や支援をさせていただいている。	はい:8 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:5	ペアレントトレーニングの知識をスタッフ間で共有し、ご家族にいい方法で支援していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	記録ノートや送迎時にデイでの状況をお伝えし、ご家族からも家での様子などお聞きするようにしている。また伝え忘れたことがあった場合はすぐLINEや電話にて連絡している。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0	今後もご家族との共通認識を持つため連携をしっかりと、課題が出た場合はご家族とスタッフとで話し合い解決していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご家族より相談があった場合、その内容を傾聴し助言している。その場で助言できない場合は、施設に持ち帰りスタッフ間で話し合い、適切な助言ができるよう努めている。	はい:9 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:3	相談しやすい環境づくりや安心して相談できる関係作りに努める。また相談があった場合は、適切な対応と必要な助言ができるようにスタッフで話し合い、共有していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会や保護者会の開催は行っていない。	はい:3 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:6	保護者会が開催される際は全面的に協力し、連携支援する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速な対応に努めている。またその出来事をすぐにスタッフ間で共有し、今後の対応について話し合いをしている。	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	今後も苦情に対する対応体制についてスタッフ間で共有すると共に、迅速な対応を心掛けていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々のコミュニケーション手段を把握し、スタッフ間で共有し、意思疎通しやすいように支援している。また意思表示をしやすい関係作りや環境づくりに努め、課題があった場合は会議等で話し合うようにしている。ご家族とは送迎時、LINE、電話等で情報伝達に努めている。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も利用者からの意思表示を受け取れるようにコミュニケーション方法を模索しながら、コミュニケーションをしっかりとっていく。ご家族ともコミュニケーションをより増やし、情報共有をしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報は発行していない。活動の様子などをご家族に写真で送ったり、InstagramやFacebookに載せて発信している。	はい:12 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	ブログの更新頻度をもう少し多くし、ご家族への写真送信も増やすことで施設での活動や過ごし方を知ってもらえるように努める。また送迎時に活動内容やその時の様子を口頭でお伝えしていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	日頃から取り扱いには注意している。またSNSへの写真掲載について書面にて利用者から許可を取ると共に、写真使用に関して最善の注意を払っている。	はい:12 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	今後も個人情報の取り扱いについては十分に注意する。また施設内での個人ファイルの取り扱いについて再度確認する。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアルは作成し、スタッフ間で周知するため研修・実技を開いた。防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは今後研修を開き、話し合いの中で作成していく。	はい:12 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	マニュアル作成をしたのち、スタッフやご家族への周知をする。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な(月1回程度)避難訓練の実施を行っている。避難訓練後も次に繋げるためスタッフ間で話し合いを行い、記録に残している。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	引き続き、定期的な避難訓練の実施に努める。またあらゆる災害を想定して訓練をし、非常時に備えていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	3か月に1回ミーティングにて研修をしている。		引き続き、定期的な研修を実施する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	実施できている。 安全のために行う身体拘束をする場合は必ず本人に説明した上で、不安や痛みなどの負担をかけないような行動、声掛けを行いつつ複数人のスタッフで身体を補助している。		今後も安全に考慮し、本人への説明と負担軽減をした上で、状況に応じて対応していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	基本的に食事に関してはお家で準備してもらっている。またアレルギーについて書面にて利用前に記載してもらい、医師からの指示書にも記載してもらっている。		施設で用意した食事やおやつに関しては事前にご家族に確認しているため、引き続き継続していく。アレルギーのある利用者をスタッフ間で共有し、十分に注意する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ひやりはっと・事故報告書をいつでも誰でも見られる状況にしている。また月1のミーティングで周知し、話し合いも兼ねている。		ヒヤリハットを作成するだけでなく、今後同じようなことが起こらないようにスタッフ間で振り返り、分析をし、対応策を考えて次に繋げていく。